第1回 石巻新庄道路のあり方検討会の概要

1. 日時：令和８年3月9日（月）
   15 時 30 分～16 時 30 分

2. 場所：仙台河川国道事務所 2F 大会議室（Web 併用）

3. 出席者：
   宮城県 土木部 道路課長
   山形県 県土整備部 道路整備課 高速道路推進室長（代理出席）
   石巻市 建設部 参事兼河川港湾課高規格道路整備推進課長（代理出席）
   東松島市 建設部 建設課長（代理出席）
   大崎市 建設部長
   涌谷町 建設課長
   美里町 建設課長
   新庄市 都市整備課 課長補佐（代理出席）
   最上町 建設水道課 建設整備推進室長（代理出席）
   舟形町 地域整備課 課長補佐（代理出席）
   東北地方整備局 道路部 道路計画第一課長
   仙台河川国道事務所 副所長
   山形河川国道事務所 副所長

4. 議事：
   （1）高規格道路ネットワークのあり方
   （2）第４回 宮城・山形県境部の道路に関する懇談会の議事内容
   （3）県境部付近（中山平～瀬見）の利用特性の確認
   （4）今後の進め方

5. 議事内容（確認した事項）：
   ○石巻新庄道路は、新広域道路交通計画において高規格道路の調査中区間に位置づけられており、概ね 60km/h 以上のサービス速度の確保を図ることについて再確認した。
   ○路線全体のうち、防災面も含め現道課題の多い区間は県境部付近（中山平～瀬見）であること、また、今後さらに絞り込みを行い、優先度の高い区間を抽出することを再確認した。
   ○県境部付近（中山平～瀬見）のうち優先度の高い区間を抽出するためには、利用者の声や利用実態も踏まえた課題箇所の分析や整備の必要性の整理が必要なため、今回は県境部付近（中山平～瀬見）の利用特性を確認した。
   ○県境部付近（中山平～瀬見）は、宮城・山形県各市町村間における日常的な地域間移動や広域な物流などの長距離移動に利用されていることを確認した。
   ○県境部付近（中山平～瀬見）を利用する貨物車の発着地は広範囲に及び、当該区間は宮城県・山形県・岩手県南を結ぶ物流ネットワークにおける中心的ルートの一つとして機能していることを確認した。
   ○今後、第 1 回検討会の内容・意見を踏まえ、県境部付近（中山平～瀬見）の利用者の声や利用実態などについて関係自治体と連携して調査することを確認した。